

# 施設カルテ

施設番号 6757 基準日 2016/04/01 出力日 2017/03/16

## 施設基本情報

施設名	高倉山気象観測局			
所在地(住所)	赤磐市西中1636-0308-00			
所管局区室課	環境局環境保全課			
FM大分類	環境施設	FM中分類	環境施設	
財産中分類	公用財産	地区	—	
財産小分類	その他の公用財産	財産細分類	現場事務所	
中学校区	—	小学校区	—	
複合化状況	—	防災上必要な施設	—	
管理運営	直営	延床面積	8.00 m <sup>2</sup>	
目的外使用	無	建築面積	0.00 m <sup>2</sup>	
土地所有状況	—	敷地面積	— m <sup>2</sup>	

**施設概要**  
気象測定機器を設置している。

**設置目的**  
大気汚染防止法第22条に基づく常時監視を実施するにあたり各測定機器を市内に設置しており、その大気の状態を把握するための気象観測局。

**設置根拠**  
大気汚染防止法第22条に基づく常時監視のための気象観測局

用途地域	—	法定容積率	0 %	法定建蔽率	0 %
用途地域以外の指定地域	—	全棟数	1 棟	駐車台数	0 台
設備整備状況	備蓄用倉庫	×	自然エネルギー・太陽光	×	ハザードマップ指定
	災害用備蓄の有無	×	屋上緑化・壁面緑化	×	洪水時の浸水深
	冷暖房設備	×	設備(電気)	×	津波時の浸水深
	通信設備	○	設備(雨水・中水)	×	地震・危険度
	調理設備	×	その他省エネ	×	地震・揺れやすさ
	入浴設備	×	分煙対策	指定なし	地震・液状化危険度
	代替電源設備	—	アスベストの使用	無	土砂災害計画区域等
					開設年月日
				1983/10/15	
				供用廃止日	
				—	

## 供給情報

区分	単位	2013年度	2014年度	2015年度	注記
年間開館日数	日				★
1日当たり運営時間	時間				
在籍者数	人				
利用者数	人				
定員数	人				
蔵書冊数	冊				
貸出冊数	冊				
病床数	床				
入院延人数	人				
外来患者延人数	人				
救急患者数	人				
管理戸数	戸				
入居戸数	戸				
収容台数	台				
利用台数	台				
契約利用台数	台				
証明書発行件数	件				
届出件数	件				
斎場利用件数	件				
貸室①					
貸室②					
貸室③					
貸室④					
貸室⑤					
貸室⑥					
貸室⑦					
貸室⑧					
貸室⑨					
貸室⑩					
貸室⑪					
貸室⑫					
貸室⑬					
貸室⑭					
貸室⑮					
貸室⑯					
貸室⑰					
貸室⑱					
貸室⑳					

(日) 【グラフ対象区分の推移】



凡例 ●—● 年間開館日数(日)

《注記》

★グラフ対象指標区分  
※貸室①～⑳の各年度表記は、次の通り。  
[利用コマ数], [利用可能コマ数]

備考

# 施設カルテ

基準日 2016/04/01

## 施設基本情報

施設番号	6757	施設名	高倉山気象観測局
------	------	-----	----------

## 財務情報

### ●歳出

区 分		2013年度	2014年度	2015年度	
歳出合計		45	47	46	
内 需用費	消耗品費	-	-	-	
	燃料費(ガソリン・重油)	0	0	0	
	光熱水費	電気	21	23	22
		ガス	0	0	0
	水道	0	0	0	
修繕費	-	-	-		
外	役員費	-	-	-	
外	委託料	-	-	-	
外	使用料及び賃借料	24	24	24	
外	備品購入費	-	-	-	
外	その他経費	-	-	-	

### ●運営人員数(人)

常勤	-	-	-
非常勤	-	-	-

※運営人員数の人件費は理論値です。

### ●歳入

区 分		2013年度	2014年度	2015年度
歳入合計		0	0	0
内 指定管理	利用料金(使用料)	-	-	-
	目的外使用料	-	-	-
	その他	-	-	-
	直営	-	-	-
外	使用料及び手数料	-	-	-
外	目的外使用料	-	-	-

### ●施設分類内コストランキング(金額の高い順)

施設分類	環境施設	総施設数	28
区 分	総額(千円)	円/㎡	
2013年度	45 第27位	5,684	第23位
2014年度	47 第28位	5,861	第24位
2015年度	46 第28位	5,711	第24位

## 特記事項

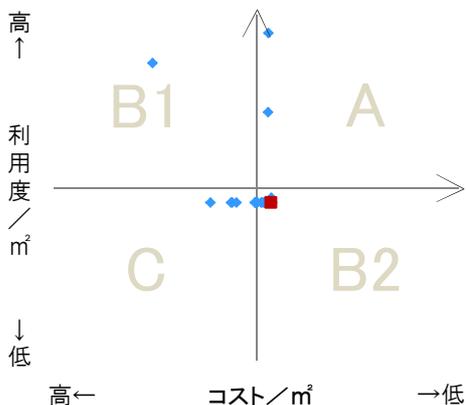
高倉山山頂 部分

施設メモ

## 費用対効果分析

【費用対効果分析(建物基本情報調査による定量的な分析)】

○費用対効果分析(㎡あたり利用度と㎡あたりコスト)



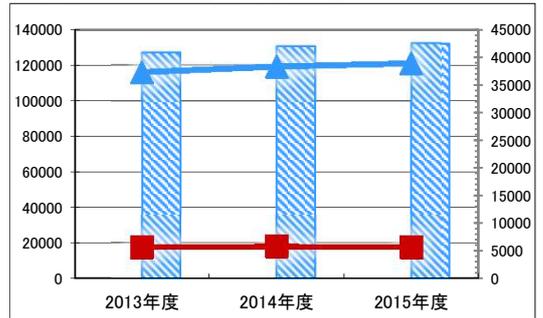
- ・軸の交差箇所は、用途を同じとする施設全体の平均値。
- ・平均値は、基準年度のコスト、利用度の平均を使用。

区分	対応	費用対効果のとらえ方
A	継続	コストと利用度のバランスが良い
B1	コスト改善	コスト面の改善が必要
B2	利用度改善	利用度の改善が必要
C	見直し	コストと利用度のバランスが悪い

凡例: ■... 当施設 ◆... 比較対象(分類)の他施設

※利用度...供給情報の★印の項目値

(千円) 【歳出の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 ■ 総額(千円) ◆ 延床面積あたり(円/㎡)  
例 分類平均 ■ 総額(千円) ◆ 延床面積あたり(円/㎡)

(千円) 【歳入の推移】 (円/㎡)



凡 当該施設 ■ 総額(千円) ◆ 延床面積あたり(円/㎡)  
例 分類平均 ■ 総額(千円) ◆ 延床面積あたり(円/㎡)

